



だいじょうぶ。ともにあるこう。 (2009. 4. 5)

# 野村 のむら ようこ 羊子

三鷹市議会議員 (会派 にじ色のつばさ)

議会報告no.24

## ■ 3月議会結果

### ◆野村羊子の一般質問

#### 市民が生き生きと活動するまちづくりについて

住民協議会の役員の高齢化・利用者の固定化について、更なるサポートが必要ではないか。

⇒ 住協が既に様々な工夫をしている。

社会教育会館市民大学は市民の自主企画・自主運営で評価できる。もっと広報し活用すべき。

⇒ 「みたかの教育」に掲載。

コミュニティ・センターや地区公会堂の貸出をもっと利用しやすいものにすべき

⇒ システムに費用がかかる。

協働には情報共有が必要。「循環型社会形成推進地域計画」はなぜ広報されなかったのか。

⇒「ごみ処理総合計画」等から作成した国に提出する図書であり位置づけが違う。

「ごみ処理総合計画」掲載の減量施策のどれを具体的に実施し市民との協働してきたのか。

⇒ ごみ減量推進会議の委員とごみゼロ・キャンペーン等を行ってきた。

住民にとっては、行政の縦割りは関係がない。もっと庁内の協働をはかり、市民が自由に生き生きと活動できる場面の創出が必要。市民ニーズにあった利用しやすい施設の貸出システムを検討すべき。他市に誇るコミュニティ・センターや社会教育会館を活用し、市民の活動力アップの支援を望みたい。委員ではない市民との協働の検討を。

## ■厚生委員会

◆介護福祉条例の改正に反対。三鷹市の介護保険料について、国基準より多段階とし高額所得者に能力に見合った負担を求めたことは評価できるが、基準額を200円アップとし、低額所得者への低減が不十分なことから反対。◆介護従事者処遇改善特別基金及び介護保険事業特別会計補正予算には賛成。特別基金は、介護報酬3%アップに伴い、国が激変緩和のために支出。そのための補正予算。

## ◆2009年一般会計予算案を可決

野村羊子は、2点の理由で反対。

①ユビキタス・コミュニティ事業は、総務省の100%補助事業としてスタート。しかし当初予定の半分以上の補助金。加えて当初計画にない住基カードを使ってコンビニで住民票をとるシステムを実施予定。既に市民カードで自動交付機から印鑑証明なども取得でき重複サービスとなるのに、一般財源から3800万計上。今後も毎年1000万の維持費は無駄。

②家庭ごみ有料化はせずとも、ごみ減量・資源化はできるので、有料化のための予算は必要ない。

◆国民健康保険特別会計・介護保険事業特別会計・後期高齢者医療保険特別会計に反対。

◆定額給付金に係わる補正予算5号に反対。予算にかかわることなので、委員会での審議を求めたが、給付事務を遅れさせたくないという市からの要望があり、本会議場で嶋崎議員が質疑・討論の上、反対。

◆中央保育園・母子生活支援施設建替工事請負契約について、談合との新聞報道があり、市が事業者から事情聴取したとある。委員会での慎重審議を主張したが、工期の遅れを理由に即決を求められ、本会議で嶋崎議員が質疑。賛成としたが疑問が残る。

◆市職員を公益法人へ派遣する条例の改正案。昨年設立された2つのNPOに市の職員を派遣するもの。NPOといっても市が作った外郭団体。派遣した職員の給与を補助金で支出するのは違法という裁判判決があり、補助金や指定管理料などの整合性について質疑。また、職員派遣は、民との「協働」の観点からも、不透明感が残るとして反対。

◆「グッドライフ」に関する請願は全会一致で可決。

◆「緑の社会」への構造改革を求める意見書(公明党)には、不十分な点を指摘する討論を行い賛成。

◆雇用を維持し国民生活を守る意見書、子どもの貧困と格差是正を求める意見書、教員免許更新性の廃止を求める意見書、賛成少数で否決。

しかし、介護報酬の引き上げが介護従事者の殊遇改善とは直接つながらない、やはり机上の論理による制度改正のため、現場はさらに混乱が予想される。市の適切な対応を求める討論を行い賛成した。

◆「北野ハピネスセンター事業の検証と今後のあり方」庁内検討会の報告。乳幼児部門くるみ園を発展させた直営子ども発達支援センター構想と成人部門「けやきのもり」民間委託構想。利用者に沿った構想と評価。今後の具体化を見守りたい

## ■三鷹市都市再生ビジョン策定。

2015年までに耐震化率100%をめざし、公共施設の整備・再配置に関する基本的方針として策定。

### ☆市役所周辺・多摩青果三鷹市場跡地

多摩青果三鷹市場跡地を取得し、防災広場と新ごみ処理場の熱利用をする**体育館・プール**を建設。総合スポーツセンター計画を組替え「スポーツ・健康づくりの拠点」とし、合わせて**保健センター**のメディカルチェック機能、北野ハピネスセンターの**障害児(者)自立支援機能**、さらには**福祉会館**と**社会教育会館**の生涯学習機能や市民交流・参加促進機能を合わせ持つ複合施設とする。基本プラン作成は、UR都市再生機構に3000万で委託し、PFI導入も検討。

市庁舎は総合体育館建設後に建替える方向で検討。公会堂と別館はリニューアル整備。

### ☆三鷹駅南口(三鷹センター・文化劇場跡地)

URの市街地再開発事業と連携を強化し、芸術文化の活動拠点・コンベンション機能のある、商業と相乗効果のある公共施設整備を検討。以前からあったホール構想が継続されている模様。

### ☆三鷹台団地周辺

URの再開発事業に伴う公園用提供用地に、**三鷹台保育園・高山保育園、牟礼地区公会堂、心身障がい児(者)通所訓練施設**(なかよし教室)の複合施設を建設。移転後の市有地は売却処分により財源確保。

### ☆財政計画

1990年前後の大規模事業の償還のピークが過ぎたので、毎年30~40億の市債発行しても公債費(元金+利子返済)は40億前後の現状以下と試算。将来負担比率は示されず、今後のチェックが重要。

## ■東京外環道調査対策特別委員会

国・東京都から示されていた「対応の方針」(素案)に対して、**三鷹市の要望書**を3/9に提出。また、市民からの意見聴取のまとめも報告された。

要望書は、基本的に「対応の方針」(素案)を地元の要望を受け止めたものと一定の評価しつつ、不十分な点を列挙して再度要望するというもの。結果的に49項目を要望。これらの要望の実現をどう担保するか質問したが、事業着手後でなければ実現できないことが多いので、順次協議をしていくという答弁で、不安が残る。

■外環フォーラム~ちょっと待って、国幹会議は早すぎる~院内集会(3/26)@参議院会館に参加。国会議員5名、秘書9名の参加があった。外環16kmの全体像とそれぞれの問題点がよく分かる集会だった。もっともっと外環の問題点を知ってもらい、議論の俎上に載せていくことが必要だと考える。

## ■にじ色のつばさ公開研修

3/29、「市民の力をいかにする福祉行政のあり方」と題して、議員としての研修とあわせて市民意見の公聴の機会として実施。40名近い方のご参加

24時間365日の在宅介護を日本で最初の始めた**ケアセンターやわらぎの石川治江さん**と、共済保険・非施設型の病児保育を始めた**フローレンスの駒崎弘樹さん**にそれぞれ、社会企業家として、福祉行政の狭間で事業を興してこられたことについてお話を伺った。その後、会場からの質疑応答も交えて活発な意見交換が行われた。

専門性の確保という観点での民間が福祉を担うことは、福祉法人への措置という形で昔から行われてきた。NPOという形態が、新しい方法論や社会問題を解決するための事業を興している事を、改めて認識させられた。ソーシャルアントレプレナー(社会起業家)という生き方が、行政の目や手が届かないところの問題解決に取り組めるものだと実感した。

経費節約ではなく、先駆的専門性を生かせる民間へ福祉行政を委ねること、民間の力を生かせることが福祉の質を高め、ニーズにあった内容充実につながる可能性など、もっとちゃんと検討していきたい。

## ■家庭ごみ有料化凍結街頭宣伝

3/20(金)昼、にじ色のつばさと日本共産党三鷹市議団は、超党派でごみ有料化凍結のアピールを三鷹駅南口ペDESTリアンデッキ上で行いました。

「ごみ有料化。納得できない!三鷹市民の会」を始め、十数団体が賛同して取り組んでいる「家庭ごみ有料化の実施」凍結を求める請願署名への協力要請も合わせて行い、多くの署名が集まりました。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会No.24

〒181-0013 三鷹市下連雀3-30-12-104

Tel&Fax:0422-72-2425

E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net

Url: http://www.nomura-yoko.net

\*野村羊子は、議会では会派「にじ色のつばさ」、日常は市民グループ「いっしょの会」とともに活動しています。

市政へのご意見、ご要望、そしてささいな疑問等、なんでもお伺いしています。いっしょに考えていきましょう。

いっしょの会 年会費 1000円

郵便振替口座 00160-2-335606



いっしょ広場 今年もやります!!

5/31(日)午後

歌あり、トークあり、バザー?屋台?ゲーム

ゆっくりたのしむ一日を

